

平成30年度社会福祉専門研修実施計画表

【県委託研修】

区 分		高齢・障害・社会的養護・階層別・新任職員			研修のねらい	研修内 容	研修方法 時 間
研 修 名	受講対象者	予定 定員	研修日数 開催予定				
1 社会福祉施設 採用内定者研修	社会人未経験の 社会福祉施設採用 内定者	[各日] 60	3日 (高齢) 未定 (障害・児童) 未定	就業前に必要な知識・技術及び職業倫理等を習得させ、円滑な就労及びサービスの質の向上を図る。	福祉の職場で働く心構えと社会人としてのマナー (全日同一内容)	[各日] 講義・演習 5H	
2 社会福祉施設 新任職員研修(前期) (参加費 一日 2,000円)	経験年数1年未満 の社会福祉施設 新任職員	[各日] 100	3日 (高齢) 4/23(月) (障害・児童) 4/19(木) 4/20(金)	福祉施設で働く職員として必要な基礎的知識や能力を習得するとともに、基本的な心構えや自己の役割を理解する。	・福祉の仕事に携わって～先輩から～ ・対人援助と社会福祉の視点 (全日同一内容)	[各日] 発表 1H 講義・演習 4H	
3 社会福祉施設 新任職員研修(後期) (参加費 一日 2,000円)	経験年数1年未満 の社会福祉施設 新任職員(原則、 前期を受講した者)	[各日] 100	3日 (高齢) 10/3(水) (障害・児童) 10/4(水) 10/5(木)	福祉専門職としての半年間を振り返り、今後、目指すべき職員像について考え、自ら課題に取り組む力を養う。	・行政説明 ・信頼されるスタッフを目指して ・今までの自分とこれからの自分 (全日同一内容)	[各日] 講義 1H 講義・演習 4H	

区 分		高齢・障害・社会的養護・階層別・中堅・指導監督職員			研修のねらい	研修内 容	研修方法 時 間
研 修 名	受講対象者	予定 定員	研修日数 開催予定				
4 社会福祉施設 中堅職員研修 (参加費 一日 2,000円)	社会福祉施設に おける経験年数 概ね3～5年程度 の中堅職員	[各日] 100	3日 7/23(月) 7/24(火) 7/31(火)	職場における中堅職員としての基本的な考え方や具体的役割について学ぶ。	・中堅職員に求められる役割 ・リーダーシップとコミュニケーション (全日同一内容)	[各日] 講義・演習 5H	
5 社会福祉施設 指導監督職員研修 (参加費 一日 2,000円)	社会福祉施設(保育所を除く)、介護保険施設において、職員に対して指導的立場にある職員。概ね経験年数10年以上。施設長職にあるもの(責任者等)を除く	[各日] 100	2日 9/12(水) 9/13(木)	専門性と組織性を兼ね備えた職員の育成を図るための基本的な考え方や具体的な役割について学ぶ。	・指導者に求められる役割 ・職場の業務改善と人材育成 (全日同一内容)	[各日] 講義・演習 5H	

区 分	高齢・障害・社会的養護・階層別・管理職員					
研 修 名	受 講 対 象 者	予 定 定 員	研 修 日 数 開 催 予 定	研 修 の ね ら い	研 修 内 容	研 修 方 法 時 間
6 社会福祉施設長研修 (参加費 一日 2,000円)	社会福祉施設(保育所を除く)、介護保険施設の長、事務長	100	1日 10/26(金)	社会福祉施設の管理者として、リーダーシップを発揮するために必要な資質の向上を図る。	・社会福祉施設の人事・労務管理について	講義 3H

区 分	高齢・障害・社会的養護・業務別・高齢者福祉					
研 修 名	受 講 対 象 者	予 定 定 員	研 修 日 数 開 催 予 定	研 修 の ね ら い	研 修 内 容	研 修 方 法 時 間
7 老人福祉施設介護従事者研修 (参加費 一日 2,000円)	老人福祉施設・老人保健施設・認知症高齢者グループホームの生活(支援)相談員、看護職員、介護職員等	100	1日 9/25(火)	施設での看取りが増加すると推測されている中、入所者も家族も安心してターミナル期を迎えられるよう、介護保険施設の専門職員として必要な知識等を習得する。	・高齢者施設におけるターミナルケアとは ・事例発表	講義・演習 5H
8 老人福祉施設機能訓練指導員研修 (参加費 一日 2,000円)	老人福祉施設・介護事業所(デイサービスセンター)の機能訓練指導員として従事、または従事予定の職員	50	1日 7/9(月)	老人福祉施設・介護事業所(デイサービスセンター)の機能訓練指導員として必要な知識等を習得する。	・老人福祉施設における機能訓練	講義・演習 5H
9 老人福祉施設看護職員研修 (参加費 一日 2,000円)	老人福祉施設、老人保健施設等の看護職員	100	1日 9/6(木)	老人福祉施設等の看護職員の役割を理解し、専門性を発揮するための知識等を習得する。	・高齢者のフィジカルアセスメント ～循環器編～	講義・演習 5H

区 分	高齢・障害・社会的養護・業務別・障害者福祉					
研 修 名	受 講 対 象 者	予 定 定 員	研 修 日 数 開 催 予 定	研 修 の ね ら い	研 修 内 容	研 修 方 法 時 間
10 障害者福祉施設支援員研修 (参加費 一日 2,000円)	障害福祉施設の支援員(県又は県が指定する者が実施する強度行動障害支援者養成研修を受講した者を除く)	100	1日 未定	行動障害について理解し、障害特性に応じた対応ができるよう、行動障害の知識・支援手法を学ぶ。	・障害者虐待防止法の基礎知識や障害者の権利擁護について学ぶ ・行動障害を理解し基本的な対応について学ぶ ・事例をとおして具体的な対応について学ぶ	講義・演習 5H
11 障害児通所支援事業所等従事者研修 (参加費 一日 2,000円)	障害児入所施設、通所支援事業所及び保育所等訪問支援事業所の直接処遇職員(児童指導員、保育士等)概ね経験年数3年以内	100	1日 6/12(火)	障害児の発達支援等に関する知識・支援手法や障害児虐待の未然防止等について学ぶ。	・障害児の発達支援について学ぶ ・障害児者の虐待防止の基礎知識や障害児者の権利擁護について学ぶ ・事例をとおして具体的な対応について学ぶ	講義・演習 5H

区 分		高齢・障害・社会的養護・課題別					
研 修 名	受 講 対 象 者	予 定 定 員	研 修 日 数 開 催 予 定	研 修 の ね ら い	研 修 内 容	研 修 方 法 時 間	
12 相談技術研修 (参加費 一回(二日間)2,000円)	社会福祉行政・施設(保育所を除く)、その他社会福祉関係で相談業務等に従事する職員で2年以上の相談業務経験を有する者	50	2日 9/3(月) 9/4(火)	相談業務等に従事する職員にとって必要な対人援助技術である、コミュニケーション技術を学ぶ。	・対人援助活動におけるコミュニケーションの方法 ・コミュニケーションの基本 ・具体的な解決を目指す方法	[各日] 講義・演習 5H	

区 分		保育・階層別・新任職員					
研 修 名	受 講 対 象 者	予 定 定 員	研 修 日 数 開 催 予 定	研 修 の ね ら い	研 修 内 容	研 修 方 法 時 間	
13 保育所 新任保育士研修 (参加費 一日 2,000円)	経験年数1年未満の保育所、幼保連携型認定こども園、その他認定こども園、地域型保育事業及び認可外保育施設の保育士等	100	1日 5/25(金)	保育士として必要な基本的知識や、子どもの発達の支援方法を習得する。	・新任保育士に期待すること ・保育の仕事に携わってみて(体験発表・グループ討議) ・乳幼児の疾病・事故の予防と対処	講義・演習 5H	

区 分		保育・階層別・中堅・指導監督職員					
研 修 名	受 講 対 象 者	予 定 定 員	研 修 日 数 開 催 予 定	研 修 の ね ら い	研 修 内 容	研 修 方 法 時 間	
14 保育所 主任保育士研修 (参加費 一日 2,000円)	保育所、認定こども園、地域型保育事業及び認可外保育施設の主任保育士及び主幹保育教諭	100	1日 5/29(火)	専門性と組織性を兼ね備えた職員の育成を図るため、保育所運営の基本的な考え方や主任保育士の具体的な役割を習得する。	・保育所運営の基礎知識と主任保育士の役割について ・新保育所保育指針及び、新幼保連携型認定こども園教育・保育要領について	講義・演習 5H	

区 分		保育：階層別：管理職員					
研 修 名	受 講 対 象 者	予 定 定 員	研 修 日 数 開 催 予 定	研 修 の ね ら い	研 修 内 容	研 修 方 法 時 間	
15 保育所長研修 (参加費 一日 2,000円)	保育所、幼保連携型認定こども園、その他の認定こども園、地域型保育事業及び認可外保育施設の長並びに市町の保育行政の管理監督者	100	1日 5/31(木)	保育所長として業務上必要な専門知識・技術を習得し、保育所の運営管理能力の向上を図る。	・事故防止と保育所長の責務について(過去の裁判例から安全管理を学ぶ) ・新保育所保育指針及び新幼保連携型認定こども園教育・保育要領について	講義 3H	

区 分		特別研修					
研 修 名	受 講 対 象 者	予 定 定 員	研 修 日 数 開 催 予 定	研 修 の ね ら い	研 修 内 容	研 修 方 法 時 間	
16 福祉広報力アップ 研修 (参加費 一日 2,000円)	社会福祉法人、施設職員、 社会福祉協議会の 広報活動を担 当するリーダー 等	50	1日 7/18(水)	社会福祉法人・福祉施設 の事業・活動や地域貢献へ の取り組み、組織・事業運 営の積極的な情報公開・発 信の広報の意義と実践につ いて学ぶ。	・社会福祉法人・福祉施設 等の情報発信について ・広報ツールの効果的な活 用の取り組み	講義・演習 5H	
17 職場研修 担当者研修 (参加費 一回(四日間)2,000円)	社会福祉施 設・団体等の職 場研修担当職員 (未受講の者)	50	4日 10/30(火) 10/31(水) 11/6(火) 11/7(水)	社会福祉施設・団体等の 職場研修の整備推進を図る ため、職場研修の運営実務 に関する知識と技術につい て学ぶ。	・福祉人材育成と職場研修 ・職場研修の推進実態を診 断する ・OJT活性化施策の推進 ・OFF-JTによる職場研修の 推進 ・職場研修担当者の役割と 課題	[各 日] 講義・演習 5H	
18 メンタルヘルス 推進者研修 (参加費 一日 2,000円)	社会福祉施設 事業所内メンタ ルヘルス推進担 当職員又は担当 が予定されてい る職員	[各日] 100	2日 11/21(水) 12/4(火)	心の健康作り計画の策 定、メンタルヘルス不調者 への対応、職場復帰のため の支援などメンタルヘルス 対策に必要な知識を包括的 に学ぶ。	・メンタルヘルスクア、ス トレスに関する基礎知識 ・職場環境等の把握と改善 の方法 ・メンタルヘルス対策の導 入と留意点 ・取組状況の把握と情報交 換 (全日同一内容)	[各 日] 講義・演習 5H	
19 口腔ケア研修 (参加費 一日 2,000円)	介護施設・事 業所等又は障害 者の施設・事業 所等で口腔ケア に関わる職員	100	1日 8/21(火)	口腔ケアに関する知識や 技術について学んでもらう ことで、要介護者・障害者 の歯と口腔の機能維持・向 上に資する。	・口腔ケアの基礎知識 ・口腔機能向上訓練 ・事例で学ぶ口腔ケア ・口腔ケア実習	講義・演習 4H	

区 分		行政・業務別						
研 修 名	受 講 対 象 者	予 定 定 員	研 修 日 数 開 催 予 定	研 修 の ね ら い	研 修 内 容	研 修 方 法 時 間		
20 社会福祉行政 新任職員研修	経験年数1年未満の社会福祉行政職員	50	1日 4/26(木)	福祉行政で働く新任職員として必要な基礎的知識や能力を習得するとともに、基本的な心構えや役割についての自覚を高める。	・社会福祉の視点 ・県政の動向について (高齢・障害・児童)	講義 3H		

区 分		行政・業務別・生活保護						
研 修 名	受 講 対 象 者	予 定 定 員	研 修 日 数 開 催 予 定	研 修 の ね ら い	研 修 内 容	研 修 方 法 時 間		
21 生活保護 行政新任職員研修 一回(三日間)	福祉事務所で生活保護業務担当職員、生活困窮者自立支援事業担当職員(自立相談支援機関の相談員を含む。)、保護施設職員で経験年数1年未満の新任職員及び受講を希望する職員	50	3日 4/12(木) 5/10(木) 6/7(木)	生活保護法の運用や解釈、ケース事例の研究等を通して、生活保護及び生活困窮者自立支援事業担当職員として必要な法律知識等の習得を図る。	・生活保護ケースワーカーの心構えと役割について ・保護の実施要領について ・医療扶助運営要領について ・介護扶助運営要領について ・事例研究	[各日] 講義・演習 5H		
22 生活保護 査察指導員研修	生活保護査察指導員及びその他受講を希望する職員、生活困窮者自立支援事業担当職員(受託先等の相談員を含む)	25	1日 未定	生活保護査察指導員の職務能力の向上を図り、生活保護制度の適正な実施に資する。	・生活保護業務における面接相談の基本について ・精神保健福祉サービスについて	講義・演習 4H		

区 分		行政・業務別：母子・父子・寡婦福祉						
研 修 名	受 講 対 象 者	予 定 定 員	研 修 日 数 開 催 予 定	研 修 の ね ら い	研 修 内 容	研 修 方 法 時 間		
23 母子・父子 自立支援員等研修	県及び市の母子・父子自立支援員、その他相談事業担当者等(福祉事務所の婦人相談員、母子家庭等就業・自立支援センターの相談員、パルティの女性相談員及び相談事業担当者)	30	1日 6/21(木)	ひとり親家庭の親や寡婦は、仕事・家事・育児・介護等を、1人でこなさなければならず、多くの困難を抱えており、親子が自立した生活を目指していけるよう支援が必要である。 援助者は、相談者が、自己決定できる様な生活課題を整理できる広い視野と感情のコントロール、見守り等といった援助技術を習得し、それらを記録として残せる手法を学んでいく。	・ひとり親家庭を取り巻く環境及び、効果的な援助技術及び記録の書き方についての ・福祉マンパワーの活用と社会資源の活用方法について ・要支援者(若いシングルマザーや知的・精神疾患をかかえる方等)に寄り添う支援のポイント(事例を通して)	講義・演習 4H		

平成30年度県社協独自研修実施計画表

【独自研修】

研 修 名	受 講 対 象 者	予 定 定 員	研 修 日 数 開 催 予 定	研 修 の ね ら い	研 修 内 容	研 修 方 法 時 間
負担の少ない移動・ 移乗介助講座 (参加費 一回 3,000円)	老人福祉施設 従事者及び障害 福祉施設従事者 で受講を希望す る者	[各部] 50	1日 (2部) 9/20(木) 1部午前 2部午後	介護技術の向上のた めの一環として、「ボ ディメカニクス」の動 きによる介護方法を学 ぶことにより、介護職 にも利用者にもやさし い介護ケアの実践を目 指す。	・負担の少ない移動・ 移乗介助 (1部2部同一内容)	[各 部] 講義・実技 3H
アンガー マネジメント講座 (参加費 一日 2,000円)	社会福祉施設 等職員	[各日] 100	2日 12/3(月) 12/10(月)	アンガーマネジメン トについて理解し実践 できるようになるとと もに、感情をコント ロールすることがで き、心身ともに健康的 な生活が送れることを 目指す。	・アンガーマネジメン トのスキルを理解する。 ・相手の怒りと上手につ きあう方法 等 (全日同一内容)	[各 日] 講義・演習 5H
調整中 (参加費 一日 2,000円)						

※開催期日・研修内容等については、変更することがあります。各研修会開催については、随時ホームページにアップ、
また、対象事業所様にはメールにてお知らせいたしますので、ホームページよりお申し込みください。